



学校だより

6月号

横浜市立大道小学校
令和8年5月29日

未来を広げる本との出会い

副校長 加藤 静

初夏のさわやかな風が心地よく、木々の緑が一段と美しく感じられる季節となりました。新年度が始まり二か月、子どもたちは新しい環境に慣れて、落ち着いて学校生活を送ることができるようになってきました。4月は緊張した様子の子も多かったですが、自分らしさを発揮し、友達と関わりながら学ぶ姿や、自分の考えを表現しようとする姿が増え、成長を感じています。

さて、6月11日は「学校図書館の日」とされています。本校でも、読み聞かせボランティア「ヨムヨムさん」や図書整備ボランティア「ピカピカさん」にもお力添えいただきながら、毎週水曜日の「読書タイム」や図書委員会の活動を通して図書室の活用や読書活動の充実に取り組んでいます。子どもたちはさまざまな本と出会いながら、想像力や考える力を育てています。

大道小学校の図書館には、横浜市内でも珍しい「りんごのたな」のコーナーがあります。「りんごのたな」には、どの子にも読みやすいように工夫された本や、さまざまな人が読



書を楽しめるよう配慮された本が並んでいます。やさしい言葉で書かれていて分かりやすい「LLブック」、大きな文字の「大活字本」、文字がない本「サイレントブック」、触って読む布の本や点字の本、さらに「聞く」読書「マルチメディアデージー」体験コーナーもあります。どこを読んでいるのかを分かりやすくしたり、文字を大きく見やすくしたりする道具も置いています。「どの子にも本の楽しさを知ってもらいたい」という願いが詰まったこの棚は、子

どもたちが自分に合う本や読書の仕方と出会うきっかけとなっています。私も大道小学校に来て初めて「りんごのたな」のことを知り、本にはいろいろな読み方があること、いろいろな本があることに気付くことができ、読書がいつそう楽しくなりました。

本は、知識を広げることはもちろん、心を豊かにし、新しい世界への扉を開いてくれる大切な存在です。本との出会いが、子どもたちの興味や関心を広げ、未来を大きく広げてくれることを願っています。ぜひご家庭でも読書の時間を大切にいただければ幸いです。



今年は暑くなるのが例年より早いように感じます。これから梅雨の季節を迎え、体調を崩しやすい時期になります。学校では健康管理や安全面に十分配慮しながら、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めてまいります。今後とも、本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



← 学校 WEB ページはこちらから